

水生生物モニタリング調査結果一覧（太田川F）

<太田川F 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
F - 1				-		-
F - 2				-		-
F - 3				-		-
F - 4				-		-
F - 5				-		-
F - 6		-		-	-	-

<太田川F 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		日	調査日時		水質				底質			その他	
	緯度	経度		時刻(水)	時刻(泥)	水温( )	泥温( )	性状	色相	混入物	全水深(m)	透視度(cm)		
F - 1	37.5974°	140.9249°	H26.10.25	7:58	8:00	14.3	14.2	泥混砂	2.5Y4/2	なし	0.44	>50.0		
F - 2	37.6015°	140.9436°		8:54	8:59	14.5	14.9	砂	2.5Y4/4	なし	0.41	>50.0		
F - 3	37.6046°	140.9641°		10:12	10:17	14.8	14.9	泥混砂	2.5Y4/3	植物片	0.53	>50.0		
F - 4	37.6071°	140.9721°		10:51	11:00	15.7	15.8	砂	2.5Y4/4	根	0.57	>50.0		
F - 5	37.6023°	140.9874°		12:25	12:30	16.3	16.4	細砂	2.5Y5/4	なし	0.37	>50.0		
F - 6	37.5955°	141.0126°		13:30	-	17.3	-	-	-	-	1.01	>50.0		

<太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		日	時刻(水)	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度														
F - 1	37.5974°	140.9249°	H26.10.25	7:58	7.3	<0.5	2.5	10.6	4.9	0.03	1.1	1	0.7	0.11	0.33	-
F - 2	37.6015°	140.9436°		8:54	7.2	<0.5	2.7	9.7	5.5	0.03	1.1	1	0.7	0.11	0.32	0.0038
F - 3	37.6046°	140.9641°		10:12	7.3	<0.5	2.4	10.0	5.8	0.03	1.0	1	0.7	0.086	0.25	-
F - 4	37.6071°	140.9721°		10:51	7.1	<0.5	2.1	9.6	6.2	0.04	0.9	<1	0.6	0.068	0.21	-
F - 5	37.6023°	140.9874°		12:25	7.2	<0.5	2.2	9.9	6.7	0.04	1.0	1	0.7	0.063	0.18	-
F - 6	37.5955°	141.0126°		13:30	7.1	0.5	2.9	10.1	11.6	0.06	1.4	6	1.7	0.056	0.17	-

<太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2-75mm) (%)	粗砂 (0.85-2mm) (%)	中砂 (0.25-0.85mm) (%)	細砂 (0.075-0.25mm) (%)	シルト (0.005-0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
F - 1	37.5974°	140.9249°	H26.10.25	8:00	6.7	342	18.6	1.5	2.6	2.665	39.5	31.1	13.0	9.6	2.9	3.9	1.6	9.5	2,700	8,400	-
F - 2	37.6015°	140.9436°		8:59	6.7	328	14.3	0.6	1.5	2.655	47.8	42.9	8.4	0.3	0.6	1.9	9.5	1,100	3,500	0.31	
F - 3	37.6046°	140.9641°		10:17	6.7	356	18.4	0.9	1.4	2.647	36.2	43.8	13.9	4.1	0.5	1.5	1.6	19	930	2,900	-
F - 4	37.6071°	140.9721°		11:00	6.7	366	16.0	0.7	1.8	2.646	39.2	28.9	24.3	6.5	1.1	1.6	19	1,000	3,200	-	
F - 5	37.6023°	140.9874°		12:30	6.8	373	20.7	0.8	1.9	2.649	2.7	25.6	68.5	2.0	1.2	0.64	9.5	500	1,600	-	

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<太田川F 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	種名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	成長段階	特記事項 胃内容物	測定部位	Cs-134 (Bq/kg-wet)	Cs-137 (Bq/kg-wet)	Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度															
F-1	-	37.5974 °	140.9249 °	H26.10.23 H26.10.25	藻類・植物	-	-	-	-	河床付着物(藻類を含む)	相当数	0.066	-	-	-	460	1,400	-
					節足動物	昆虫	トンボ	トビ	Macromia amphigena amphigena	コヤマトンボ	103	0.031	幼虫(ヤゴ)	-	-	110	370	-
					節足動物	昆虫	トンボ	トビ	Anotogaster sieboldii	オニヤンマ								
					節足動物	昆虫	トンボ	ツバ	Onychogomphus viridicostus	オナガサナエ								
					節足動物	昆虫	トンボ	ツバ	Sieboldius albardae	コオニヤンマ								
					節足動物	昆虫	トンボ	ツバ	Davidius sp.	ダビドサナエ属								
					節足動物	昆虫	トンボ	ツバ	Asiagomphus melanops	ヤマサナエ								
					節足動物	昆虫	トンボ	ツバ	Boyeria maclachlani	コシボソヤンマ								
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	Protohermes grandis	ヘビトンボ	33	0.015	幼虫	-	-	68	220	-
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	Parachauliodes japonicus	ヤマトクロスジヘビトンボ	295	0.080	成体	-	-	210	680	-
					節足動物	軟甲	十脚	双足	Paratya improvisa	ヌカエビ	4	0.040	成体	-	-	250	760	-
					節足動物	軟甲	十脚	ワカニ	Eriochelone japonica	モクスガニ	61	0.054	成体	-	軟体部	94	310	-
					軟体動物	腹足	吸殻	カニ	Semisulcospira libertina	カワニナ	4	1.5	成魚(9歳)	内容物あるが不明	内臓除去	51	150	0.36
					脊椎動物	硬骨魚	ウグイ	ウグイ	Triboledon hakonensis	ウグイ	6	0.010	未成魚	-	-	280	750	-
					脊椎動物	硬骨魚	ウグイ	ウグイ	Zacco platypus	オイカワ	18	0.15	成魚	-	-	170	480	-
					脊椎動物	硬骨魚	ウグイ	ウグイ	Nipponocypris temminckii	カワムツ	6	0.060	成魚	-	-	110	360	-
					脊椎動物	硬骨魚	ウグイ	ドジョウ	Cobitis biwae	シマドジョウ	5	0.012	成魚	-	-	240	660	-
					脊椎動物	硬骨魚	ウグイ	ウグイ	Rhinogobius sp.	シマヨシノボリ	5	0.024	成魚	-	-	430	1,400	-
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	Silurus asotus	ナマズ	1	0.29	成魚(4歳)	内容物あるが不明	内臓除去	29	89	-
					粗粒状有機物	-	-	-	-	-	-	-	水底落葉等	相当数	0.29	-	-	-

- 1: 生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- 2: 水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- 3: 複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- 4: 生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。
- 5: 成長段階の赤字記載は、鱗または耳石による年齢査定の結果を示す。
- 6: プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40µmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。
- 7: 河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- 8: N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- 9: 放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。